

受賞おめでとうございます

大田区交通安全功労者表彰
 新井宿七丁目町会 西條 誠一
 新井宿六丁目町会 笹井 昭
 (敬称略)

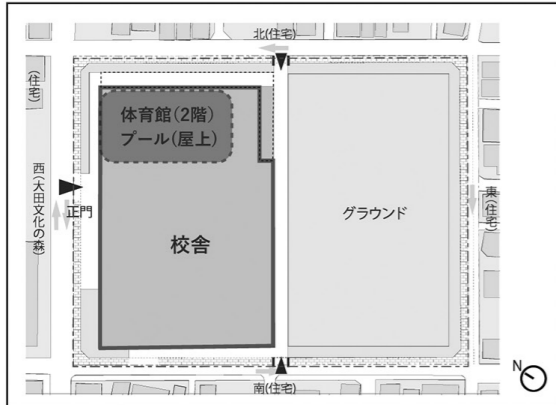
入新井第二小学校改築事業基本構想及び基本計画

入新井第二小学校では、校舎の大半が築60年近く経過するなど老朽化が進んでおり、全面改築に向けて、基本構想及び基本計画が策定されました。今後はこの基本構想及び基本計画にまとめた考え方に則り、設計から工事へと取組が順次進められます。竣工は令和11年度(予定)です。

現状の配置図



改築後の配置案



編集後記

65歳以上の皆様にはワクチン接種お済みになりましたでしょうか。まだ接種されていない方はお近くの出張所に相談してください。

「入新井第二小学校改築事業基本構想及び基本計画」が策定されました。近隣にお住いの皆様、保護者の皆様の十分なご理解の上進めていくこととなります。[21世紀に生きる君たちへ]

大きな贈り物となってもらえることと確信しています。お忙しい中、急な取材にも関わらず、貴重なお時間を割いて取材をお受けいただきました。入二小、入四小、山王小、三中の校長先生をはじめ各先生方にお礼を申し上げます。ありがとうございました。(稲田編集委員)

新井宿特別出張所管内の世帯と人口 令和3年6月1日現在

●世帯数…11,634世帯 前年同月比 +45世帯
 ●総人口…21,808人 前年同月比 -4人(男+7人 女-11人)
 (男…10,835人 女…10,973人)

「げんきになる木でつながろう」

コロナ禍で人との「かかわり」や「つながり」が少なくなって気持ちも落ち込みがちになっている方が多いと思われる。

こちらの「げんきになる木」は今回、地域応援プロジェクトに賛同いただいた、入新井第二小学校の四年生と地域包括支援センター新井宿(大森医師会)が、力を合わせて完成させた「桜」です。

みんなが明るく元気になれるように「つながりの輪」を広げていきます。



発行 地域力推進新井宿地区委員会
 編集 「わがまち新井宿」編集委員会

中央一丁目町会	編集委員長	関 口 直 人
新井宿五丁目町会	副編集委員長	谷 口 敏 子
新井宿七丁目町会	副編集委員長	福 田 入 三
山王三丁目東自治会	編集委員	荒 木 秀 樹
山王三・四丁目自治会	編集委員	三 沢 清 太 郎
山王三・四丁目自治会	編集委員	大 瀧 眞 理 子
山王三丁目町会	編集委員	吉 川 信 一
山王三丁目町会	編集委員	稲 田 祐 命
中央一丁目町会	編集委員	形 見 俊 郎
中央四丁目町会	編集委員	立 石 恒 卓
新井宿五丁目町会	編集委員	加 藤 弘 子
新井宿六丁目町会	編集委員	松 原 美 枝 子
新井宿六丁目町会	編集委員	雉 本 ま り 子

……共同編集……
 監 修 新井宿自治会連合会
 事務局 大田区新井宿特別出張所
 大田区中央1-21-6 ☎3776-5391
<http://www.city.ota.tokyo.jp/omori/index.html>



with コロナの今後へ 自治会町会の明るい展望



これまで新型コロナという言葉を目にしない日はないほど、私たちは長い長いコロナトンネルの中にいます。ワクチンという一条の灯りを捉えながらもまだ終息も見えないなか、オリンピック・パラリンピックが目下の話題となっておりますが、感染症の懸念がある一方で選手の皆さんの活躍は私たちに頑張るエネルギーを与えてくれています。

自治会町会は、これまでの大掛かりな防災訓練や町のイベントをとりやめておりますが、こういう時期に応じて三密を避けた形で、小学校でのあいさつ運動支援や高齢者など社会弱者に寄り添った活動は粛々と進めております。

今回の特集で紹介される地域の小中学校では、教職員をはじめPTAや学校支援関係のみならずの協力を得て、それぞれの立場で学校教育と並行して創意工夫の中で子どもたちの思い出に残る学校事業を運営されています。逆にいえば逆境にめげず、こうした時期だからこそ創造された素晴らしい企画は、オリンピック・パラリンピックで頑張る競技者の汗に重なるものを感じます。

逆境は人を強くすると申しますが、このコロナ災害に備える活動をしている自治会町会においても然りです。避難所におけるコロナ感染症対策を踏まえた協議や高齢者のワクチン接種の予約支援などこうした時機に応じた活動が行われています。

明けない夜はありません。そう遠くない将来に必ず来るだろう明るい未来に向け、この機会に学んだ多くの新様式やウィズコロナ、アフターコロナを今後の事業に活かしていきたいと考えています。今後も変わらぬ地域の絆をご一緒に築いていきましょう。

ーワクチン接種についてー

現在、ワクチン接種が進められていますが、接種を終えた方、接種をしない方、これから接種をする方、どの方も、ワクチンについて正しく理解されることが重要です。ワクチンに関して、厚生労働省ホームページの情報を、ご案内させていただきます。

- 日本で接種が行われている新型コロナワクチンは、いずれも、新型コロナウィルス感染症の発症を予防する高い効果があります。
- 効果の持続期間や、感染を予防する効果についても、時間の経過や接種者数の増加に伴い、研究が進んでいます。
- ワクチンを接種して免疫がつくまでに1~2週間程度かかり、免疫がついても発症予防効果は100%ではありません。
- 接種後も引き続き、感染対策を継続することが重要です。

大田区のワクチン接種につきましては、区ホームページや区設掲示板などで、随時お知らせがあります。65歳以上の方で2回目の予約がお済みでない方、ご不明な点がある方は、お気軽に出張所等に問い合わせてください。

大森第三中学校

修学旅行は区の方針で中止となりましたが、当校のみ(区内28校中)3月になって多少落ち着いたところで1泊2日で羽田・平和島(ユースセンター泊、一部は簡易テント室内泊)に行きました。羽田空港では、オリンピックのため第2ターミナルを拡張したスペースを見学。その際、大きな電光掲示板に「卒業おめでとう!大森三中の皆さん」の表示があり、嬉しかったです。ANAの機内見学では、キャビンアテンダントのドリンクサービスがあり、チャーター船でアンダージェットクルーズ(海側からジェット機の着陸を真下から見上げる)。キャンプファイヤーも。実行委員の生徒達は、2~3日という短い準備期間にもかかわらず、スケジュールと菜を作成。その表題はなんと「修学旅行」!!彼らにとって手作りの修学旅行だったのです。区教育委員会・ANA・国交省・リムジンバス他、多方面の方々に多大なご協力ご支援をいただきました。

合唱コンクールは秋から3月に変更して実施しました。歌うので合唱用の大きなマスクを作成(バンドナにゴムを付ける)。1・2年生は自分で、3年生は受験なので「スクールサポート三中」の皆さんに作成を手伝ってもらいました。



羽田空港見学



合唱コンクール

コロナ禍の学校に聞きました!

これまでにない工夫を教えてください!

各学校の取り組み例を「わがまち新井宿」の編集委員が取材しました。

小学校では昨年度4月6日から新学期スタートの予定が、始業式、入学式は三密を避けて校庭で挙行。翌7日緊急事態宣言を受け、3月2日からの臨時休校は5月末まで継続体制に入る。大田区教育委員会の新方針に対応し、各学年の課題を考慮し、家庭学習時間など具体的数値を示して指導。6月1日から分散登校で再開。8日から時差登校(午前組、午後組)。10日から給食開始。22日に通常登校に戻る。夏休みは16日間に大幅短縮。諸行事の中止、延期が相次ぐ中、様々な工夫を凝らした。

教科をキッチリやっていくのも大事ですが、皆で協力して行事をやり遂げることも大事だと教えるようになったと思います。

(校長談)

ワクワクドキドキだったと思いますが、素晴らしい思い出作りになったと思います。コロナ禍だからこそできた良い体験でしたと、校長先生もお話されていました。

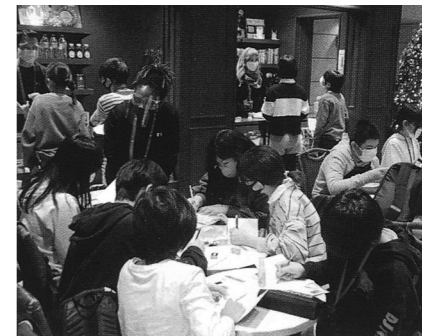
6年生の移動教室は中止になったので、卒業前に平和島公園に歩いて行ってアスレチックを思い切り楽しんできたそうです。コロナ禍で先生方のご努力ご苦勞も大変だったと思いますが、思いがけないところに出かけたり、新しい発見があったり子どもたちはとても良い経験ができたと思います。

入新井第四小学校

10月の運動会は種目を減らして三部制で行ったので、密にもならないで保護者の方々もゆっくり見られたようです。

また展覧会は保護者と子どもが別々に鑑賞するようにして、開催期間を5日間に増やしたそうです。

6年生の思い出作りには、初めての試みでお台場にある「東京グローバルゲートウェイ」に行きました。ここでは、東京都教育委員会と企業が2018年9月に開業した体験型英語学習施設です。グループに外国人の先生がついてコミュニケーションをとったり、様々な仮想施設(スーパー、銀行、ドラッグストア等)に行き目的を果たしたりする活動を、すべて英語で話をして体験する場所です。



東京グローバルゲートウェイでの体験



展覧会

山王小学校

大変な状況下で安心安全を目指して、動画を使ってリスクを回避しているところが従来の学校生活とは異なり、問題を乗り越えながら新しい方向に全校で進んでいるようです。

今年5月23日に運動会を実施しました。全校児童を三部制にして、一部 中学年、二部 低学年、三部 高学年としました。競技は徒競走、表現運動(ダンス)の二種目でした。また、表現運動(ダンス)は、その様子を校内に流し、各教室にて応援や観戦をしました。密を心配して無観客のところもあったようですが、本校ではできる限り多くの保護者の方々に観て頂けるように工夫しました。緻密に三密回避や動線を考えて行われたようです。もっとも三部に分けて行われているので、観客自体も三部に分かれることになります。

防災引き取り訓練が毎年ありますが、昨年度より引き取りの方法を動画で紹介し、保護者の方が自宅で引き取り方法を確認できるようにしました。

今年の2月にパソコンが児童一人ひとりに配布され、学習や連絡に使用できるようになりました。例えばコロナ状況下で登校が難しい場合は、児童が自宅で動画を見ることもできます。

昨年よりのコロナ事情で多くの企画が実行されず中止になり、我慢の毎日ですが意外に児童たちは教員が設定した新しい企画に前向きに取り組んでいるとのこと。「向日葵」のように、太陽(未来)に向かう力強さを感じました。



運動会

入新井第二小学校

新学期から様々な制約の下、学校生活を過ごしている子供たちに雷父親俱樂部(おやじの会)から10月3日「親子花火大会」のプレゼント。10月18日には運動発表会を午前(1~3年生)、午後(4~6年生)の二部制、演目も二種(短距離走、表現運動)に絞り、参観者も一家族二名に限って実施。10月22~30日の三日間は、二学年ずつで分散遠足、徒歩でふるさとの浜辺公園と平和島アスレチック公園を目指した。12月5日午後からのPTA執行部役員主催「6年生思い出作りイベント」では、手形のクリスマスツリー制作など思い出を積む。

年明けもコロナ旋風収束の願いも叶わぬ中、2月12~14日の三日間、展覧会開催。一筆書きの周回コースが床に示されスムーズ、また夜間参観日の設定など感染予防対策を工夫。子供画伯の力作に心和む。2月20日雷父親俱樂部主催の行事第二弾として6年生の思い出作り「キャンプファイヤー」の企画が実現。焚火を囲んでのひとは入二小の一員である一体感や赤い炎に寄せた想いなどを共有。3月24日桜の花に見守られ卒業式。自然も巣立ちにエールを。

感染症の世界的大流行下、児童ありきと心を寄せ合い工夫を重ねて、行事の数々を完遂された先生、職員、PTA役員、雷父親俱樂部、市民消防隊の方々、新井宿五丁目町会の支援などオール入二小の熱き心に感謝。

今まで「あたりまえ」と思っていた生活がいかに「ありがたいものであり、はかないもの」であることを実感した創立98周年の一年であった。



親子花火大会



手形のクリスマスツリー制作